

第78期

スター精密株式会社  
中間事業報告書

2003年2月期 株主の皆様へ

STAR'S REPORT

78

star 

ご  
あ  
い  
さ  
つ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに2003年2月期中間期（2002年3月1日より2002年8月31日まで）の事業報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当中間期における世界経済は、米国および欧州経済ともに昨年からの景気の底は脱したものの全般的には低調に推移し、アジア経済は中国を中心に総じて回復基調にありました。一方、わが国経済は輸出が増加したものの個人消費、設備投資などの内需が低迷し、依然として景気は底ばい状態にありました。

このような状況下において、当社グループの電子機器事業におきましては、小型プリンタは欧米での販売が堅調に推移したため前年同期比で売上げを伸ばしましたが、大型プリンタは徴税システム向けが中国国税局の税收システム再構築に伴う出荷停止が続いたことにより、売上げは大幅に減少いたしました。また、小型音響製品は主力の電子ブザーが販売数は前年水準を維持しながらも価格下落が続いたため、全体の売上げは減少いたしました。工作機械事業におきましては、単能機はアジア市場での旺盛な設備需要に支えられ売上げを伸ばしましたが、軽複合機、重複合機は主力市場である欧米の景気低迷の影響を受け、全体で売上げは大幅に減少いたしました。精密部品事業におきましては、時計部品は受注数量が増加したものの継続的なコストダウン要請などにより苦戦を強いられ、非時計部品も主力の光コネクタ部品が米国などでの需要低下の影響を受け、全体の売上げは減少いたしました。

以上を総合して、当中間期の連結業績は売上高は197億1千3百万円（前年同期比22.9%減）、営業利益は10億7千1百万円（前年同期比70.5%減）、経常利益は4億8千5百万円（前年同期比87.2%減）、中間純損益は3億2百万円の損失となり、大幅な減収減益となりました。

今後の見通しにつきましては、世界経済は米国および欧州経済ともに景気の急回復は見込めない状況となっており、わが国経済も極めて先行き不透明であり、依然として厳しい経営環境が続くものと予想されます。このような情勢のなかで、当社グループは、小型音響製品では世界最小・最薄を追求したマイクロフォン、超小型磁気平衡型（BA）レシーバーなどの製品を市場投入、CNC自動旋盤では独自のモーションコントロールシステムを搭載した新機種を開発するなど、さらなる製品の差別化を推し進めてまいります。また、小型・精密加工組立を核とする技術集団として、成長する分野に身を置き成長する地域に事業展開するべく、開発・生産・販売体制の一層のグローバル化および収益性改善、資産圧縮など財務体質の強化を図り、筋肉質の企業体実現に努力いたす所存であります。

なお、株主の皆様に対する中間配当金につきましては、先に述べましたように大変厳しい業績ではありましたが、前期末利益配当金と同じく1株につき5円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2002年11月  
取締役社長

樽岩省三

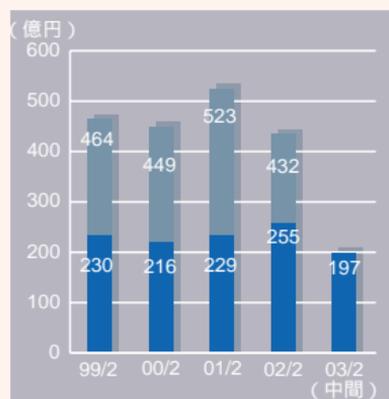


## 連結ハイライト

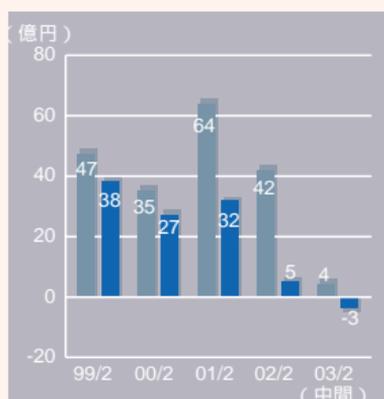
## 連結主要財務情報

項目	01年2月期		02年2月期		03年2月期
	中間	年間	中間	年間	中間
<b>経営成績</b>					
電子機器事業 百万円	11,492	28,476	13,716	22,799	11,785
工作機械事業 百万円	9,227	19,410	9,823	16,768	6,167
精密部品事業 百万円	2,217	4,416	2,032	3,696	1,760
売上合計 百万円	22,936	52,304	25,573	43,265	19,713
電子機器事業 百万円	1,395	4,414	2,043	2,226	1,366
工作機械事業 百万円	1,643	3,352	2,248	3,313	492
精密部品事業 百万円	453	831	456	672	286
消去又は全社 百万円	1,160	2,246	1,111	2,149	1,074
営業利益合計 百万円	2,332	6,352	3,637	4,063	1,071
経常利益 百万円	2,297	6,477	3,787	4,213	485
中間(当期)純利益(純損失) 百万円	714	3,273	1,420	577	302
1株当たり中間(当期)純利益(純損失) 円	12.64	57.91	25.13	10.21	5.37
<b>財政状態</b>					
総資産 百万円	67,958	72,211	71,314	65,393	62,034
株主資本 百万円	43,428	46,798	47,102	46,977	44,745
株主資本比率 %	63.9	64.8	66.0	71.8	72.1
1株当たり株主資本 円	768.23	827.84	833.20	831.22	796.82

売上高  
年間  
中間



経常利益  
中間(当期)純利益(純損失)



# 営業の概況

## 電子機器事業

小型音響製品は、電子ブザーが販売数は前年同期の水準を維持したものの値引き要請が続いたため、売上げは減少いたしました。なお、マイクロフォン、スピーカーおよびレシーバーにおいて、顧客ニーズに対応した世界最小・最薄、世界初のリフロー対応型などの新製品を市場投入いたしました。また、BAレシーバーでは、これまで培ってきた音響技術が評価されてきております。

小型プリンタは、サーマル式が欧米のPOS市場で販売が堅調であったため前年同期比で売上げは増加いたしました。大型プリンタは、徴税システム向けが中国国税局による管理ソフトウェアのさらなる変更に伴い出荷停止が続いたことにより、売上げは大幅に減少いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は117億8千5百万円（前年同期比14.1%減）となりました。



電子ブザー/レシーバー/スピーカー



小型プリンタTSP600



大型プリンタNX-600

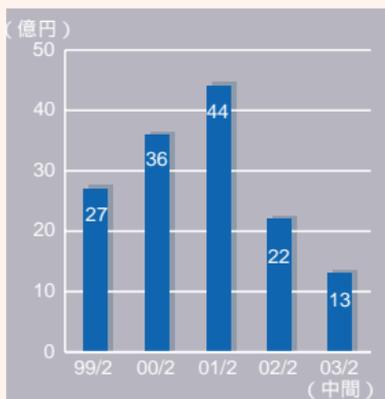


カードリーダー/ライターTCP2000

### 売上高



### 営業利益



# 営業の概況

## 工作機械事業

CNC自動旋盤のうち、高生産性を追求した低価格の単能機はSE・SIシリーズを主体に、また、高精度・複合加工を特長とした軽複合機はSR・SAシリーズおよび当期より市場投入のSV-32JⅡを主体として積極的な営業活動を展開いたしました。さらに、複雑・難削加工を得意とする重複合機は、SVシリーズに加え新製品ECAS-12/20を柱として拡販に努めました。単能機は、中国・東南アジアなどのアジア市場、国内の自動車関連分野などにおいて旺盛な設備需要に支えられ売上げが増加したものの、軽複合機および重複合機は、主力市場である欧米における設備需要低迷の影響を受け、前年同期比では売上げが大幅に減少いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は61億6千7百万円（前年同期比37.2%減）となりました。



SR-20R



SV-32JⅡ

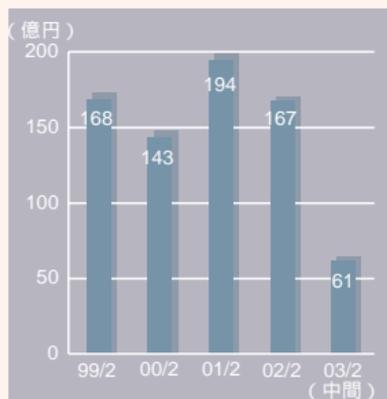


ECAS-20

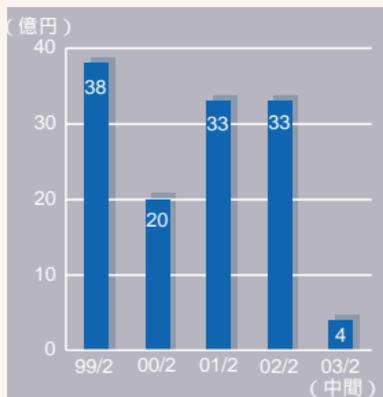


SI-12

### 売上高



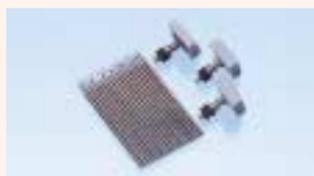
### 営業利益



## 精密部品事業

時計部品は、腕時計メーカー各社が前期に実施したムーブメント減産による在庫調整の進展などにより受注数量は増加したものの、中国製低価格製品の台頭および為替の影響などによる同メーカー各社からの値引き要請が継続し、前年同期比で売上げが減少いたしました。また、非時計部品は高付加価値部品を生産するため新規にCNC自動旋盤の導入・改良などを図り、医療用部品などの受注活動を積極的に展開いたしました。特に米国通信業界の低迷により主力製品の光コネクタ部品受注が大きく落ち込んだため、前年同期比で売上げが大幅に減少いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は17億6千万円（前年同期比13.4%減）となりました。



捲真・インサートボタン



リューズ・ヘッダーネジ

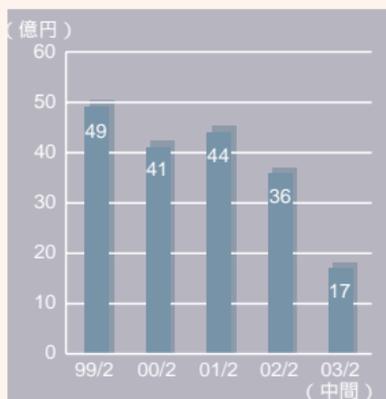


光コネクタ部品

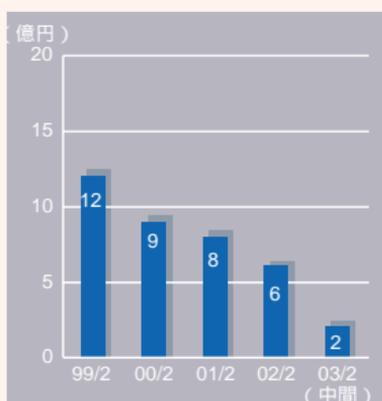


医療用部品

### 売上高



### 営業利益



## 新製品紹介

中国市場向け

## 【大型プリンタNX-500】

NX-500は、小型、軽量、低価格をコンセプトにした中国市場向けの帳票発行用フラットベッドプリンタです。中国市場のニーズに合わせて機能を絞り込むことで、高いコストパフォーマンスを実現しています。曲線を基調とした斬新なデザインを採用しており、これまでのフラットベッドプリンタのイメージを一新する新製品です。



## 【小型プリンタTUP900】サーマルメカニズム



TUP900は、拡大が期待されるKIOSK(情報端末)市場に向けた、サーマルプリンタの新製品です。多様化する市場のニーズに対し、取り付けのフレキシビリティ、大きさ、性能などを大幅に改善するとともに、サーマルメカ、給紙ユニット、基板など製品の構成ユニット毎にモジュール化して製品設定することで、顧客による自由な選択を可能にしました。

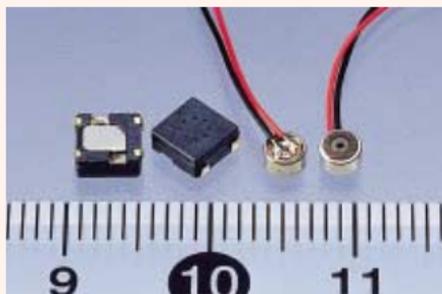
## 【カードリーダー・ライタTCP300ZD】



TCP300ZDは現在もっとも流通しているPETカード(白濁、ロイコ媒体)に対応したリライトカードリーダー・ライタです。カード表示の消去・印字速度を高速化し、業界初のUSB対応機能を採用してノートパソコンや新世代POSへの拡張性をアップするなど機能の向上をしつつも、低価格を実現した新製品です。

## 【マイクロフォンMAA-03A-L、MAB-04A-T】

世界最小・世界初



左: MAB-04A-T、右: MAA-03A-L

MAA-03A-Lは世界最小\*エレクトレットコンデンサマイクロフォンです。当社独自の精密加工技術と音響ノウハウを駆使し、直径3mm厚さ1.5mmという超小型化を実現しました。通信機器市場のみならず幅広いニーズに応えることが期待されます。MAB-04A-Tは世界で初めてリフロー(表面実装)に対応したエレクトレットコンデンサマイクロフォンです。移動体通信機器市場における電子部品のリフロー対応ニーズに応えるとともに、耐熱性を活かし車載機器関連市場への販売も期待されます。

## 【サウンドNFT-03A】



\*当社調べ

NFT-03Aは世界最小\*のリフロー対応サウンドです。デジタルカメラ、血圧計・体温計といった電子健康機器をはじめとする小型電子機器への採用が期待されます。また鉛フリー化により環境にも配慮した製品です。

アジア市場向け

## 【スイス型CNC自動旋盤SB-16】

SB-16は今後大きな需要が期待されるアジア市場のシェア拡大のため開発された新製品です。機能・性能を必要最小限まで徹底的に絞りこみ、量産効果によるコストダウンを図ることで圧倒的な低価格を実現しつつも、機械剛性や長時間稼働への対応力を向上させるなど性能の充実も図りました。



## 【スイス型CNC自動旋盤SV-32JII】



SV-32JIIは太物加工の生産性を飛躍的に向上させる超パワーマシンとして発売以来高い評価を得ているSV-32Jのグレードアップ機です。従来モデルの圧倒的パワーはそのままに、複合加工能力を大幅に強化しました。自動車部品などの複雑

形状部品加工における多様な顧客ニーズに対応し、高付加価値な部品加工分野において活躍が期待される製品です。

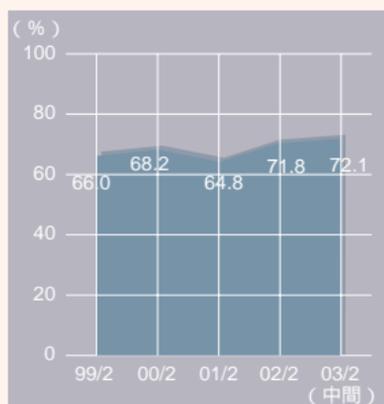
## 主要財務データ(連結)

要約連結貸借対照表

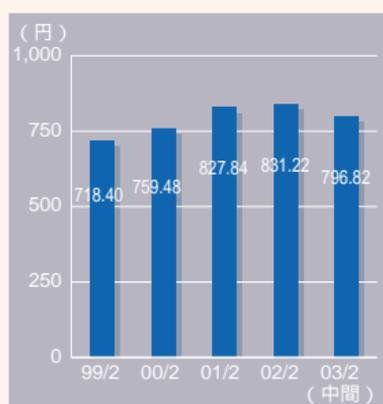
単位:百万円

科目	当中間期 03年2月期中間	前中間期 02年2月期中間	前期 02年2月期
<b>資産の部</b>			
流動資産	37,243	43,001	37,979
固定資産	24,791	28,312	27,414
資産合計	62,034	71,314	65,393
<b>負債の部</b>			
流動負債	15,300	22,137	16,045
固定負債	1,882	1,865	2,227
負債合計	17,183	24,003	18,272
<b>少数株主持分</b>			
少数株主持分	105	208	143
<b>資本の部</b>			
資本金	12,721	12,721	12,721
資本準備金	13,876	13,876	13,876
連結剰余金	19,695	21,407	20,280
その他有価証券評価差額金	166	114	188
為替換算調整勘定	1,034	787	299
自己株式	348	0	12
資本合計	44,745	47,102	46,977
負債、少数株主持分及び資本合計	62,034	71,314	65,393

株主資本比率



1株当たり株主資本



## 要約連結損益計算書

単位:百万円

科目	当中間期 03年2月期中間	前中間期 02年2月期中間	前期 02年2月期
営業損益の部			
売上高	19,713	25,573	43,265
売上原価	12,820	15,743	27,294
販売費及び一般管理費	5,821	6,193	11,907
営業利益	1,071	3,637	4,063
営業外損益の部			
営業外収益	128	407	617
営業外費用	714	257	466
経常利益	485	3,787	4,213
特別損益の部			
特別利益	31	70	147
特別損失	157	969	2,208
税金等調整前中間(当期)純利益	359	2,888	2,152
法人税、住民税等	671	1,440	1,557
少数株主利益(損失)	9	26	17
中間(当期)純利益(純損失)	302	1,420	577

## 要約連結剰余金計算書

単位:百万円

科目	当中間期 03年2月期中間	前中間期 02年2月期中間	前期 02年2月期
連結剰余金期首残高	20,280	20,202	20,202
連結剰余金増加高	-	96	96
連結剰余金減少高	282	312	595
中間(当期)純利益(純損失)	302	1,420	577
連結剰余金中間期末(期末)残高	19,695	21,407	20,280

## 要約連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	当中間期 03年2月期中間	前中間期 02年2月期中間	前期 02年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,409	782	285
税金等調整前 中間(当期)純利益	359	2,888	2,152
減価償却費	1,570	1,678	3,566
その他	3,479	5,348	6,004
投資活動によるキャッシュ・フロー	706	3,601	4,429
有形固定資産の 取得による支出	756	2,052	3,456
連結範囲の変更を伴う 子会社出資金の拠出による支出	-	2,069	2,069
その他	49	520	1,096
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,031	2,100	1,219
現金及び現金同等物に 係る換算差額	690	241	539
現金及び現金同等物の増減額	980	2,040	2,956
現金及び現金同等物の期首残高	5,906	8,809	8,809
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加	-	53	53
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	6,887	6,822	5,906

## 主要財務データ(単体)

## 単体主要財務情報

項目	01年2月期		02年2月期		03年2月期	
	中間	年間	中間	年間	中間	
<b>経営成績</b>						
電子機器部門	百万円	13,025	30,116	10,529	20,260	10,175
工作機械部門	百万円	6,970	14,663	8,010	11,953	4,156
精密部品部門	百万円	2,279	4,557	2,121	3,861	1,827
売上合計	百万円	22,275	49,337	20,661	36,075	16,159
(輸出比率)	(%)	(72.1)	(73.9)	(71.8)	(74.0)	(75.2)
経常利益	百万円	2,100	6,409	2,165	2,393	227
中間(当期)純利益	百万円	996	2,185	482	84	36
1株当たり中間(当期)純利益	円	17.63	38.66	8.53	1.50	0.65
<b>財政状態</b>						
総資産	百万円	59,763	63,047	60,467	55,434	52,262
株主資本	百万円	41,613	43,609	43,665	42,898	42,338
株主資本比率	%	69.6	69.2	72.2	77.4	81.0
1株当たり株主資本	円	736.09	771.40	772.38	759.04	753.96

## 要約単体貸借対照表

単位:百万円

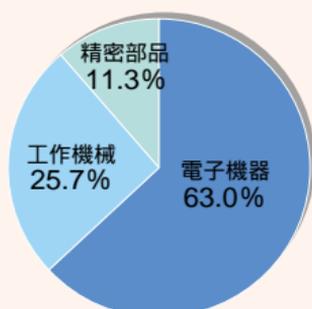
科目	当中間期	前中間期	前期
	03年2月期中間	02年2月期中間	02年2月期
<b>資産の部</b>			
流動資産	25,376	30,792	27,111
固定資産	26,885	29,674	28,322
資産合計	52,262	60,467	55,434
<b>負債の部</b>			
流動負債	8,982	14,966	11,247
固定負債	941	1,835	1,289
負債合計	9,923	16,802	12,536
<b>資本の部</b>			
資本金	12,721	12,721	12,721
資本準備金	13,876	13,876	13,876
利益準備金	764	764	764
その他の剰余金	15,490	16,416	15,736
その他有価証券評価差額金	166	114	188
自己株式	348	-	12
資本合計	42,338	43,665	42,898
負債及び資本合計	52,262	60,467	55,434

要約単体損益計算書

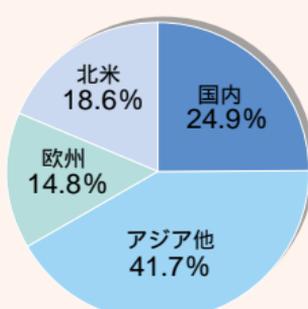
単位:百万円

科目	当中間期 03年2月期中間	前中間期 02年2月期中間	前期 02年2月期
<b>営業損益の部</b>			
売上高	16,159	20,661	36,075
売上原価	12,192	14,842	26,998
販売費及び一般管理費	3,519	3,894	7,285
営業利益	447	1,924	1,791
<b>営業外損益の部</b>			
営業外収益	514	510	1,090
営業外費用	734	269	488
経常利益	227	2,165	2,393
<b>特別損益の部</b>			
特別利益	71	171	218
特別損失	215	1,329	2,526
税引前中間(当期)純利益	82	1,007	85
法人税、住民税等	46	524	0
中間(当期)純利益	36	482	84
前期繰越利益	4,849	5,325	5,325
中間配当額	-	-	282
中間(当期)末処分利益	4,886	5,807	5,127

部門別売上高構成比(%)



地域別売上高構成比(%)





### 主な海外子会社

会社名/所在地	資本金	持株比率	区分
スターマイクロニクス アメリカ・INC( SMA ) アメリカ・ニュージャージー	6,000千米ドル	100% (100)	販売会社
スターマイクロニクス アジア・LTD( SMH ) 香港・九龍湾	1,000千香港ドル	100%	販売会社
スターマイクロニクス UK・LTD( SMU ) イギリス・ハイウィッカム	4,600千英ポンド	100%	販売会社
天星精密有限公司 香港・九龍湾	1,000千香港ドル	70%	生産会社
斯大精密(大連)有限公司 中国・大連市	45,000千米ドル	100%	生産会社
スターマイクロニクス・AG( SMAG ) スイス・チューリッヒ	5,000千スイスフラン	100%	販売会社
A&Sプレジジョン マシンツールズ・LTD( A&S ) イギリス・ダービーシャー	130千英ポンド	100%	販売会社
スターマイクロニクス MFGドイツ・GmbH( SMMMD ) ドイツ・アルツァイ	3,936千ユーロ	100% (1)	その他
スターCNCマシンツールCorp.( SMTTC ) アメリカ・ニューヨーク	1米ドル	100% (100)	販売会社
ラグロWH・GmbH&Co.KG( LAGRO ) ドイツ・ノイエンピュルグ	500千ユーロ	100% (100)	販売会社
スターアメリカホールディング・INC( SAH ) アメリカ・デラウェア	10,000千米ドル	100%	持株会社
大連三得電子有限公司 中国・大連市	108,067千人民元	98% (5)	生産会社
上海星榮精機有限公司 中国・上海市	16,555千人民元	60%	生産会社

(注)持株比率の欄の( )内は、間接所有割合。

### 国内子会社

会社名	所在地	資本金	持株比率	区分
㈱ミクロ岳美	静岡県静岡市	10百万円	100%	生産会社
東新精機㈱	静岡県小笠郡菊川町	10百万円	100%	生産会社
㈱ミクロ札幌	北海道石狩市	250百万円	100%	生産会社
㈱ミクロ富士見	静岡県静岡市	15百万円	100%	その他
オーエスメタル㈱	静岡県小笠郡菊川町	30百万円	100%	生産会社
㈱ミクロ菊川	静岡県小笠郡菊川町	50百万円	100%	生産会社

# 会社の概況 (2002年8月31日現在)

## 会社概要

設立	1950年7月6日
資本金	127億2千1百万円
従業員数	907名
営業品目	1. 電子機器(電子ブザー、マイクロフォン、スピーカー、レシーバー、大型プリンタ、小型プリンタ、カードリーダー) 2. CNC自動旋盤等工作機械 3. 腕時計部品、通信機器用精密部品、自動車関連用精密部品、医療関連用精密部品

## 役員

代表取締役 取締役社長	糟谷 省三		
専務取締役	鈴木 俊弘	取締役	鈴木 完次
常務取締役	佐藤 肇	取締役	伏見 千秋
常務取締役	岡本 憲昭	監査役(常勤)	伊東 勝治
取締役	金子 忠邦	監査役	今林 勲
取締役	藤原 英夫	監査役	石井 浩
取締役	加藤 昌弘	監査役	沼田 勝意
取締役	興津 智彦		

(注) 監査役4氏は、いずれも「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

## 事業所

### 本社・機械事業部(営業部)

〒422-8654 静岡県静岡市中吉田20番10号  
TEL.054-263-1111

### 電子機器事業本部

庵原工場	〒424-0066 静岡県清水市七ツ新屋536番地 TEL.0543-47-0111
中吉田工場	〒422-8001 静岡県静岡市中吉田18番9号 TEL.054-261-7721
瀬名川工場	〒420-0913 静岡県静岡市瀬名川二丁目29番33号 TEL.054-261-2431

### 機械事業部

菊川工場	〒439-0023 静岡県小笠郡菊川町三沢北ノ谷1500番地34 TEL.0537-36-5511
東京営業所	〒101-0047 東京都千代田区内神田二丁目3番6号 楓ビル5階 TEL.03-5256-2656
大阪営業所	〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原四丁目1番45号 新大阪八千代ビル6階 TEL.06-6395-1559
名古屋営業所	〒465-0043 愛知県名古屋市名東区宝が丘25番地 グローバル25 5-A TEL.052-777-1505
諏訪営業所	〒392-0012 長野県諏訪市大字四賀2258番地の7 TEL.0266-58-8132

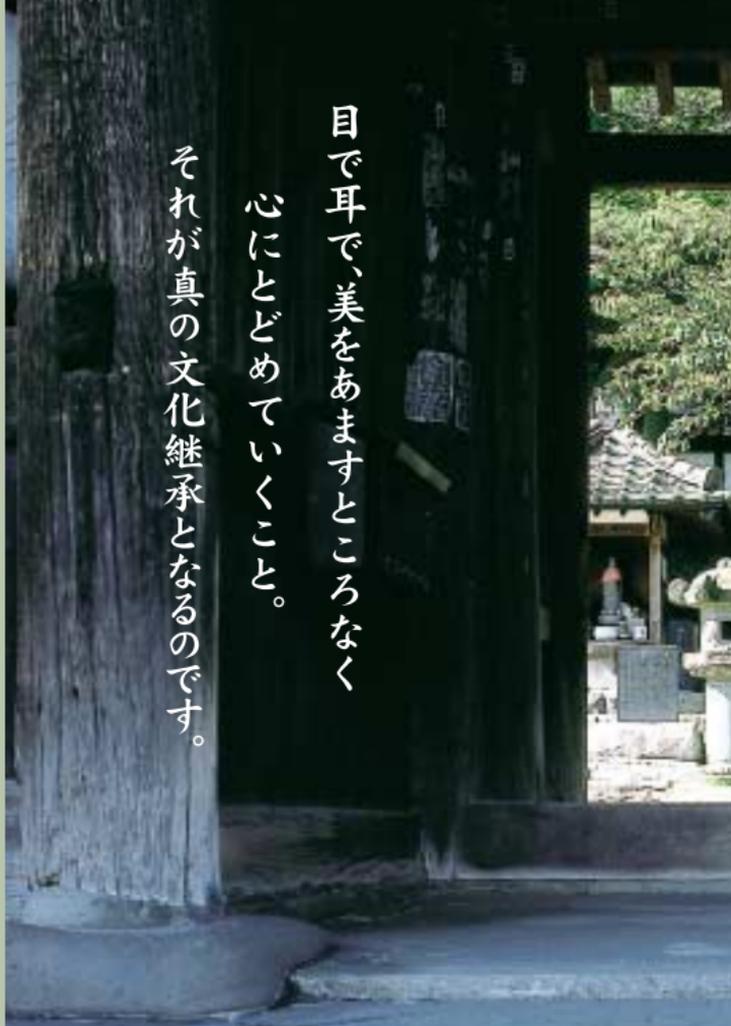
### 精密部品事業部

富士見工場	〒424-0065 静岡県清水市長崎391番地 TEL.0543-46-0234
-------	---

# 鉄てつ 舟しゅう 寺じ

目で耳で、美をあますところなく  
心にとどめていくこと。

それが真の文化継承となるのです。



木造蘭陵王面。約七百年前の鎌倉時代のもの。静岡県指定文化財。



薄墨の笛(新羅三郎義光伝来薄墨笛)今から約八百年前、源義経(牛若丸)が東へ下る途中、浄瑠璃姫と恋仲になり別れの片身にこの笛を手渡したと伝えられている。

静岡と清水をまたぐ日本平の、富士を望む側の麓に、鉄舟寺は佇みます。もとは久能山にある久能寺という、約千三百年もの歴史を持つ古刹。久能山に城を築くために現在地に移りました。明治に入り長く荒廃していた寺を山岡鉄舟が再興、今川貞山が開山。これが鉄舟寺の誕生です。

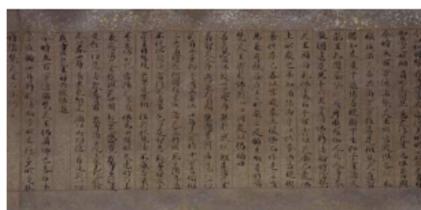
鉄舟寺の山門は約三百八十年もの歴史を誇ります。両脇に構える仁王像もまた同じ位の年を重ね、その深き情緒は、門の向こうへと繋がる石段へ続いていきます。一段、また一段。上り、そして振り向けば雄々しき富士のお山と清水港、三保の松原が一望できます。



約一千年も昔の木像である薬師如来座像(行基作)、日光菩薩立像、月光菩薩立像を宝物殿に保存。他に、六十年に一度大開帳をする、木造千手観音立像(静岡県指定文化財)が観音堂に秘められている。



山門(仁王門)より石段を見上げる。この石段を上れば、富士山と駿河湾を一望できる。



久能寺からの歴史は深く、鉄舟寺には寺宝が豊富に残されています。なかでも特筆すべきは、国宝の“久能寺経(紙本墨書法華経)”。今から約八百六十年前、鳥羽上皇の側近の手により書写された、藤原文化と公家文化を代表する逸品。金や銀の切箔子を散らし、謹厳に墨書され、表紙や見返しにも華麗な模様や装飾文様が施されています。荘厳経として厳島の平家納経と並び、天下逸品と称せられています。

そして、鉄舟寺を代表する寺宝が“薄墨の笛”。あの源義経が牛若丸時代から愛用したといわれている横笛です。なんと約八百年もの間、楽器として現存し、今でも演奏ができるという



左：国宝、久能寺経（紙本墨書法華経）現在は上野国立博物館に保管。

右：狩野探幽作の杉戸五本。

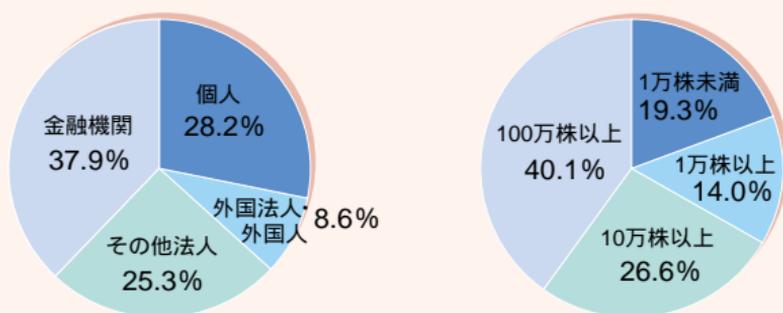
稀な存在。寺宝として大切に扱われ、この長き間のなかで補修されてきたことが、保存状態の良さに表れています。

寺宝や文化財は、それを所有する寺や国、県等のものだけではなく、美を見聴きし感嘆する人々のためのもの、というのが鉄舟寺ご住職のお考え。ゆえに鉄舟寺では昭和41年以来、この薄墨の笛の音色を楽しむ会が不定期に催されています。一流の奏者を招き、本堂に松明を燃やし、薄暗い灯りのなかで八百年の時を経て奏でられる笛の音に、身をゆだねるといふ贅。この粋なはからいは、文化として今後も生き続けます。美に感嘆することで歴史を共有し、それを継承していくことこそが、文化を育てるのです。

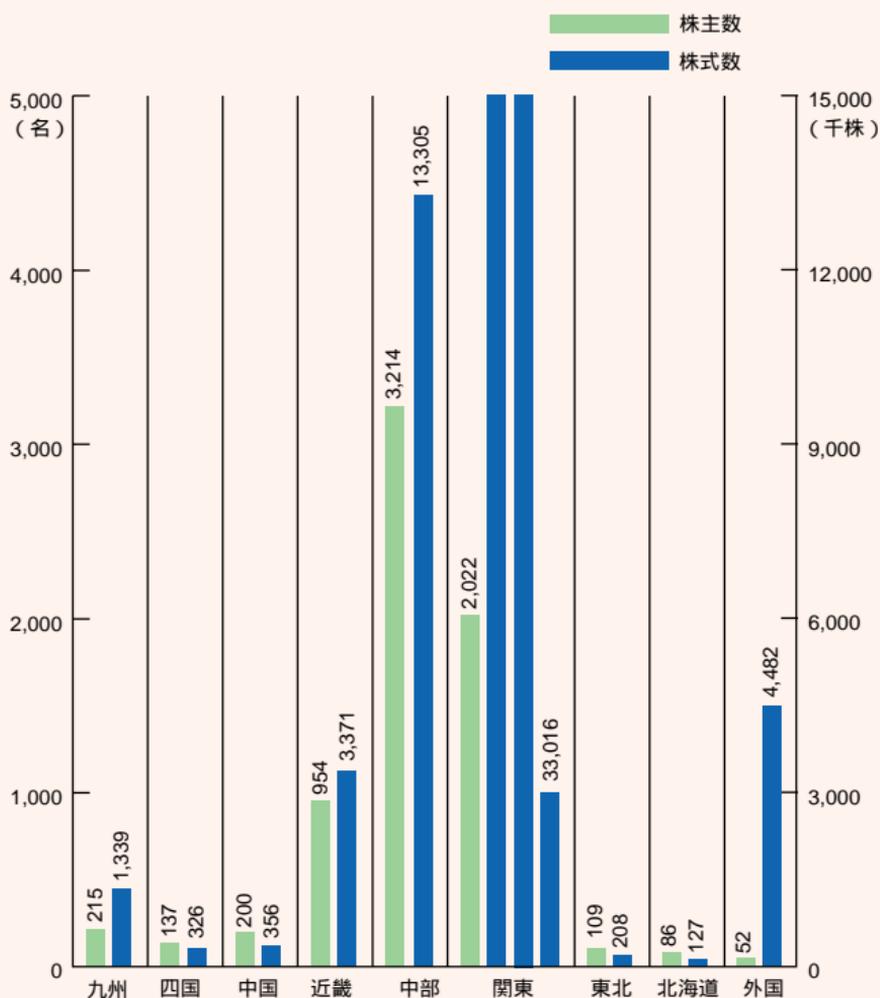
# 株式の状況 (2002年8月31日現在)

発行する株式の総数	160,000,000株
発行済株式の総数	56,533,234株
株主数	6,989名
1人平均持株数	8,089株
当期中の名義書換件数	96件
当期中の名義書換株式数	893,105株

## 所有者別・所有株数別分布状況



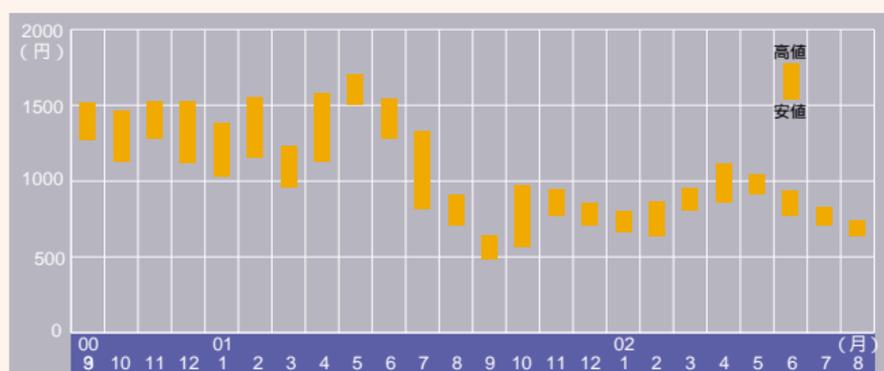
## 地域別分布状況



## 大株主(上位10名)

	持株数(千株)	持株比率(%)
シチズン時計㈱	8,658	15.3
UFJ信託銀行㈱(信託勘定A口)	3,301	5.8
㈱みずほ銀行	2,348	4.2
日本トラスティ・サービス 信託銀行㈱(信託口)	1,701	3.0
㈱静岡銀行	1,582	2.8
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン	1,551	2.7
日本マスタートラスト 信託銀行㈱(信託口)	1,521	2.7
リズム時計工業㈱	1,005	1.8
住友信託銀行㈱	1,000	1.8
三菱信託銀行㈱	865	1.5

## 過去2年間の株価の推移 東京証券取引所市場第一部における高値/安値



## 株式についてのご案内

決算期	2月末日
定時株主総会	5月
配当金	利益配当金受領株主確定日 2月末日 中間配当金受領株主確定日 8月31日
基準日	毎年2月末日現在の株主名簿(実質株主名簿を含む)に 記載された株主をもって、その期に関する定時株主総会 において権利を行使すべき株主とみなします。
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 東京証券代行株式会社
同事務取扱場所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号(新丸ビル) 東京証券代行株式会社 本店 Tel.03-3212-4611(代表)
同取次所	東京証券代行株式会社 営業所および各取次所
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部 ドイツ・フランクフルト証券取引所
公告掲載新聞	日本経済新聞
1単元の株式数	1,000株

## スター精密株式会社

本社 / 〒422-8654

静岡県静岡市中吉田20番10号

TEL. 054-263-1111 FAX. 054-263-1057

<http://www.star-micronics.co.jp>

**R100**  
古紙配合率100%再生紙

 **PRINTED WITH  
SOY INK**

環境に配慮した「大豆油インキ」  
を使用しています。